

令和2年度多文化共生事業実施結果

練馬区地域振興課事業推進係

1 コミュニケーション支援

(1) 外国語表記による生活情報の提供

- ・通訳ボランティア派遣

令和2年度(2月末現在) 67回 (令和元年度: 228回)

(内訳) 保健相談所 18回、小学校 21回、中学校 14回、福祉事務所
6回ほか

(2) 日本語を学ぶ機会と場の提供

- ・初級日本語講座「にほんごのきょうしつ」

令和2年度: 30回1期 (令和元年度: 30回2期)

令和2年9月1日～12月18日の毎火・金曜日(9月22日、11月3日を除く)開催

参加者数: 16名 (延べ420名)

※4月～7月の講座は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

- ・こども日本語教室

令和2年度: 4回 (令和元年度: 39回)

土曜日開催

参加者数: 18名 (延べ35名)

ボランティア: 19名 (延べ61名)

※春、夏教室および学習の成果を披露する発表交流会は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。冬教室についても休止中。

- ・やさしい日本語研修

令和2年度: 1回 (令和元年度: 2回)

令和2年2月18日(木)開催

参加者数: 28名 (区職員14名、一般14名)

※例年、外国人ゲストの協力を得て実践的な研修として開催しているが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、座学のみで開催。また、7月にも開催を予定していたが、感染拡大防止のため、中止した。

- ・日本語スピーチ大会
新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止（令和元年度：1回）

2 生活支援

外国語相談の拡充、生活関連部署との連携と情報発信

- ・外国語相談
毎週月～金曜、午後1時～5時に区役所本庁舎9階で実施
英語・中国語：月～金、韓国語：金、タガログ語：月
令和2年度（12月末）2,587件（令和元年度2,835件）
（内訳）暮らし915件、福祉430件、行政391件 ほか
- ・文化交流ひろば 情報コーナー
平日：午前10時～午後1時、土・日・祝：午後1時～4時に実施
英語：火・木・土、中国語：水、金、日、韓国語：月
令和2年度（12月末）164件（令和元年度1,810件）
（内訳）暮らし63件、教育・余暇23件、区事業61件 ほか
- ・外国人のための防災説明会
新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催無し
（令和元年度：4回）
- ・外国人のための資源分別説明会
新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催無し
（令和元年度：2回）
- ・外国語情報誌の発行（ねりまつうしん）
英語・中国語・韓国語・日本語にて年4回発行

3 多文化共生のまちづくり

（1）外国文化の紹介、国際理解の推進

- ・イイねりまつアー
新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催無し
（令和元年度：3回）
- ・ねりまワールドフェスティバル
令和3年1月24日開催予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止。（令和元年度：1回）

- ・文化交流カフェ【新規事業】
令和2年度（予定）：1回
（令和元年度：9回 ※令和元年度は国際交流サロン、文化交流講座として実施）
※毎月開催する予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、4月から2月は中止。3月に韓国文化を紹介する内容で実施予定。
- ・英語で読み聞かせとてあそび
2か月に1回開催する予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止。
（令和元年度：5回）

（2）異文化コミュニケーション人材の育成

- ・日本語教室ボランティア養成講座
令和2年度（予定）：17回1期 （令和元年度：22回1期）
参加者数：15名
※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、参加者数を抑制して開催。
- ・日本語ボランティア実践研修
令和2年度（予定）：1回 （令和元年度：2回）
※6回連続講座を実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止。

4 地域活動団体、ボランティア等との協働

（1）登録ボランティアの活性化

- ・日本語講師ボランティア登録制度
令和2年度（予定）：仲介3回 （令和元年度：仲介6回）
※内訳：ボランティア日本語教室1回、個人2回

（2）地域活動団体との協働

- ・つながるフェスタ
例年、「多文化ねりま」として各国文化や区事業の紹介ブースを出展しているが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、つながるフェスタがオンライン開催となったため、出展なし。（令和元年度：1回）

コロナ禍における活動に係るアンケート

団体名 _____

回答日 令和3年 月 日

1 コロナ禍における活動状況について教えてください。

(回答例) ●月からオンラインと対面のハイブリットで授業を行っている。
●月●日から●日間休校とした。

2 「新しい生活様式」に即した活動をする中で、課題や対応方法等について感じていらっしゃる
ことがあれば教えてください。

(回答例) ・交流事業を含めたすべての活動が大幅に制限されたため、学生のコミュニケーション
能力向上に支障が出ていると思われる。
・学生側の環境整備がまちまちであり、オンラインを活用した教育活動には限界がある
と感じる。

3 今後の多文化共生の取組として、必要と感じていることやご意見等がありましたら、ご記入く
ださい。

(回答例) 日頃からオンラインでの活動を実践しておいた方が良いと感じた。

～アンケートは以上です。ご協力、ありがとうございました。～

コロナ禍における活動に係るアンケート

団体名 _____ 回答日 令和3年 月 日

1 コロナ禍における活動状況について教えてください。

(回答例) 令和2年4月7日から活動休止。令和2年7月7日から活動再開。
令和2年12月15日から再休止し、現在に至る。

2 「新しい生活様式」に即した活動をする中で、課題や対応方法等について感じていらっしゃるものがあれば教えてください。

(回答例) マスクをした状態での日本語指導（口の動かし方等）が難しい。

3 今後の多文化共生の取組として、必要と感じていることやご意見等がありましたら、ご記入ください。

(回答例) 日頃からオンラインでの日本語教授法を実践しておいた方が良いと感じた。

～アンケートは以上です。ご協力、ありがとうございました。～